

2023年8月23日

各位

(公社) 日本フェンシング協会
ルール・審判部会

国内大会における試合後の握手について

新型コロナウイルス感染症予防のため、試合終了時、主審が判定を下した後、お互いが剣の交差をすることで握手の代わりとしていました。しかし、感染症が第5類に移行したことに伴い、2023年8月以降はFIE競技規則通り、握手をすることと致します。主審の判定後、サリュエを行い、選手の握手にて試合終了となります。

FIE 競技規則 t (抜粋)

t.122 各対戦の開始の前に、両選手は各々の対戦相手と主審及び観客にフェンシングのサリュエを行わなければならない。同様に、最終トウシュの得点があった場合、両選手が互いに主審と観客にサリュエをし終わるまで試合は終了しない。故に主審が判定を下す間は、両選手は静止していなければならない。主審が判定を下した時には、両選手はアンガルドのラインに戻ってフェンシングのサリュエを行い**対戦相手と握手**をしなければならない。もし片方又は両方の選手がこれらの規則に従う事を拒否する場合は、主審は、第4グループの違反に規定されている如く選手を処罰する事とする (cf. t.158-162, t.169, t.170)。